

保健医療サービス論	4年・後期	1単位 15時間	非常勤講師 一戸 真子
科目カテゴリー	看護の対象の理解	科目ナンバリング	32320514

1. 授業のねらい・概要

看護師は病院を中心とする医療機関全体を最も理解している医療従事者であり、各部門や機能において重要な役割を果たしていることについて学ぶ。また、看護師をはじめとする保健医療従事者による患者へのケアの提供は、ヘルスケアシステムの中で提供されるサービスであり、さらに病院をはじめとする医療機関は実際に経営していかなければならないことについても理解を深められるよう講義する。保健医療サービスの特徴の理解と、他のサービスとの違いについても理解を深めながら、保健医療サービスの質の向上にはどのような視点が重要であるかについても講義する。保健医療サービスは世界中の人々のニーズがあるサービスであり、グローバルな視点からの保健医療サービスの標準化や質についても理解を深め、グローバルスタンダードに基づく看護師の役割や倫理についても理解を深められるよう講義する。

2. 学修の到達目標

1. 保健医療サービスの特徴を理解し、病院等医療機関の経営の実感が理解できる。(D-3)
2. 病院における看護師の具体的な業務と役割が説明できる。(D-2)
3. 医療費を支払うヘルスケア・コンシューマーとしての患者や家族の役割と権利について説明できる。(D-1)
4. 生活者としての看護師、労働者としての看護師と保健医療サービスとの関係について説明できる。(D-1)
5. 国によって保健医療サービス提供に対する考え方に違いがあることについて理解し、グローバルな視点からの看護師の役割と特徴について理解を深めることができる。(D-4)

3. 授業の進め方

できるだけ総合的に思考し、自己の職業倫理観の形成の機会を多く提供したいので、課題の提示を行いながら進めていく。また、グローバルな視点からのヘルスケアサービスの比較をすることにより、質保証についての知見を得られるよう、国際的な視点から授業を展開する。

4. 授業計画（講義）

回	授業内容	授業形態	事前事後学修（学修課題）	担当
1	保健医療サービスの特徴—他のサービスとの違い	講義	予習：保健医療サービスの特徴について配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ、保健医療サービスを他のサービスと比較してノートにまとめる	一戸真子
2	病院発展の歴史と医療経営	講義	予習：病院発展の歴史について配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ、病院発展の歴史と医療経営についてノートにまとめる	一戸
3	ヘルスケアサービス・コンシューマーとしての患者とその家族	講義	予習：ヘルスケアサービス・コンシューマーとしての患者とその家族について配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ、ヘルスケアサ	一戸

			ービス・コンシューマーとしての患者とその家族の特徴についてノートにまとめる	
4	労働者としての看護師，医療従事者の働き方改革	講義	予習：労働者としての看護師，医療従事者の働き方について配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ，労働者としての看護師の働き方について他の医療従事者と比較してノートにまとめる	一戸
5	ビジネスとしての保健医療サービスの質	講義	予習：ビジネスとしての保健医療サービスの質について，配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ，ビジネスとしての保健医療サービスの質についてノートにまとめる	一戸
6	医療関連サービス，医療材料，医療機器，医薬品	講義	予習：医療関連サービスについて配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ，医療材料，医療機器，医薬品についてノートにまとめる	一戸
7	院内における看護師の役割と業務内容	講義	予習：院内における看護師の役割と業務内容について配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ，看護師の病棟業務，外来業務についてノートにまとめる	一戸
8	グローバルな視点からみた保健医療サービスと看護	講義	予習：グローバルな視点からみた保健医療サービスについて配布資料を一読しておく 復習：講義内容を踏まえ，保健医療サービスのグローバル化と看護の関係についてノートにまとめる	一戸

5. 成績評価の方法・基準

レポート 30%，最終試験 70%で評価する。

6. テキスト・参考文献

教科書は特に指定しない。必要に応じて指示する。

参考書：1) 一戸真子：グローバル・ヘルス・ビジネス，日本経済評論社，2018
2) 一戸真子編：国際看護，学研メディカル秀潤社，2016

7. 準備学習に必要な時間，又はそれに準じる程度の具体的な学習内容

授業ごとに事前予習課題の提示および振り返り課題の提示を行うので，予習・復習を行って欲しい。これらの予習・復習の時間には2時間以上必要とする。

8. 受講上の留意事項

患者は世界中にあり、また看護師も世界中にいるという前提で、保健医療サービスをグローバルに捉えることの重要性について認識して欲しい。また、患者を癒し、助ける場としての病院であるが、資本主義経済社会のもとでは、収入と支出を考え、実際に経営していかなければならず、また看護師自身も労働者として給与や労働条件、自身のQOLについて考えなければならないことについて、是非卒業前に考えておいて欲しい。

9. 課題に対するフィードバックの方法

試験については、提出後に解答などを説明する。

10. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

選択科目である。

11. 実務経験のある教員等による授業科目

本授業は、病棟、外来、各機能および経営の実際も含めた病院評価における実務経験を活かして指導する。